

### 沿革

- 平成13年12月 学校法人ティピシィ学院より出資し、「就学生」受け入れ日本語学校として群馬県前橋市にて開校
- 平成16年7月 JITCO（現 公益財団法人 国際研修協力機構）認定日本語教育機関となり、前橋・小山・宇都宮校で外国人研修生向け日本語教育開始
- 平成20年4月 本校を栃木県小山市へ移転し、外国人研修生向け日本語教育に特化
- 平成22年7月 EPAに基づく外国人介護研修生の為の介護福祉士受験対策講座（主に日本語）を開始
- 平成22年8月 外国人「定住者」向けビジネススキルアップ（職業訓練）講座を開講
- 平成24年8月 文化庁委託事業 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 プログラムB受託
- 平成25年8月 文化庁委託事業 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 プログラムB受託
- 平成26年1月 会社名を「株きぼう国際外語学院」に変更
- 平成26年4月 文化庁委託事業 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 プログラムB受託
- 平成27年4月 文化庁委託事業 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 プログラムB受託



### 学校概要

現在、この学校に留学生はひとりもいません。当校は、技能実習生への日本語教育を中心とした日本語学校です。毎年約2,000名近い実習生が当校で日本語を学びます。2015年10月現在、当校で学んだ実習生は10,000名強となりました。その他にも、上記の通り様々な日本語教育を実践しています。EPA 介護福祉士候補生に対する介護福祉士国家試験対策講座、定住者向けの職業訓練講座、その他生活する外国人向けのプライベート日本語レッスンなどです。

今までの日本語教育の枠組みでは対応できなかった「日本語学習希望者」の「きぼう」をかなえるべく、学習者の希望にできるだけ合わせた日本語教育を行っています。

「ここだからできる、ここでしかできない」をモットーに、実習生、地域の方々への日本語サポートをしています。



### 文化庁事業を取組むにあたって

「なぜ、株式会社が文化庁事業に取り組んでいるのか」とよく聞かれます。そのときは、「『企業だからできること』＝『ここだからできる』ことがないかということにチャレンジしています」と答えます。「日本語教育」を「企業」の視点で考え、それをいろいろな立場の方と共有することこそ、これからの日本社会での「連携」だと考えています。外国人にとっての日本語教育という視点だけではなく、日本語教師にとっての日本語教育、日本社会にとっての日本語教育をこの事業を通して考えていきたいと思っています。



【連絡先】〒323-0828 栃木県小山市神山2-8-18

TEL 0285-32-6656 FAX 0285-32-6034 <http://www.ajiken.jp/>

担当：栗又 由利子 080-3702-7675 kurimata@ajiken.jp



事業実施概要



<b>事業名称</b>	<b>「やさしい日本語」の普及とやさしい日本語での日本語教育体制整備事業</b>			
<b>地域課題</b>	地域住民が、外国人、「やさしい日本語」を知らない。外国人は、「情報を得るための日本語学習」ができない。			
<b>事業目的</b>	地域の外国人理解を促進し、やさしい日本語の使い手を増やすため、「やさしい日本語」の普及を目的とした。「やさしい日本語」を各分野に普及させ、今までの連携はもとより、様々な所と連携していく。また、この事業で、日本語学習だけではなく、外国人同士、または日本人とのネットワーク作りができればと考えている。			
<b>事業内容</b>	<b>取組 1</b>		<b>取組 2</b>	
	名称	日本人対象「やさしい日本語」の基礎講座	名称	生活する外国人出演による多文化共生番組作成と発信
	目的	「やさしい日本語の使い手を増やす」こと	目的	受け入れ側である日本人の外国人理解促進、外国人の日本語学習、社会参加
	内容	病院、商店街、企業に外国人と出向き、外国人と日本語教師による「やさしい日本語講座」を開く。	内容	栃木県全域に流れるFMを使い、外国人が自分の生活や、悩みを発信する。また、日本語教師がアドバイザーとして参加する。
	対象	受講者：各団体に所属している日本人 講師：外国人講師	対象	ラジオの聴取者 FM番組に出演する外国人
	時間	1回2時間×3回(全時間数6時間)	時間	番組放送全時間1時間、番組作成全時間12時間、内容検討会議全時間6時間
	人数	受講者：20人(講師：6人)	人数	12名、FM聴取者
	<b>取組 3</b>		<b>取組 4</b>	
	名称	生活する外国人向け日本語教室「場面・テーマ別で学ぶ日本語講座」(取組4と連携)	名称	外国人と日本人とで学ぶ「日本生活エッセイセミナー」(取組3と連携)
	目的	外国人の日本語学習意識を高める、日本語力向上、日本人と知り合う機会を設定すること	目的	外国人の学習意欲、日本語力を高め、日本人とのネットワークを得る機会を設定すること
	内容	自分が知りたいテーマに関する日本語自体を学ぶ教室を開催し、日本語の学習意欲を促進する。その後テーマに関する内容を日本人と学ぶ教室と合同で交流を兼ねた授業を行い、実際に学習した内容を運用するチャンスを作る。	内容	日本語力が高い外国人が、自分の興味のある内容を日本人と一緒に学習する。テーマによっては、専門家も招き、より専門的な日本語に触れる。
	対象	県内在住外国人(初～中級程度)	対象	通訳ができる外国人、日本人
時間	1回2H×15回(全時間数30H)	時間	1回2時間×15回(全時間数30時間)	
人数	15人(外国人15人)	人数	20人(外国人10人)	
<b>連携体制</b>	FM 栃木(レディオベリー)。宇都宮市、看護学校、看護学校、佐野市国際交流協会、宇都宮ガイドボランティア、白鷗未来創造ネットワーク、真岡青年会議所、宇都宮健康クリニック、鹿沼市国際交流協会、とちぎNPOボランティアセンターばぼら等			
<b>成果と課題</b>	【成果】外国人に興味のない日本人の方に外国人のことを知ってもらう機会を作れた。 【課題】日本語学習に興味のない外国人の方に学習に参加してもらうきっかけ作りがうまくできなかった。			
<b>皆様へ一言</b>	「日本語の学習に興味がない」という外国人の方と、「国際関係には興味がない」という日本人の方に、それぞれ興味を持ってもらうためにはどうするか、日々試行錯誤しております。アドバイスをお願いいたします！！			